

第50回 日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード ノミネート作品の発表 9/5(木)・6(金) 記念大会として開催

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟(理事長:今林顯一/東京都中央区)では、全国のケーブルテレビが制作する優れた番組を称え、地域社会に根ざした映像情報文化の更なる発展を目指し、毎年、「日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード」を開催しております。

番組アワードは、1975年に「番組コンクール」として始まり、第9回の1983年からは最優秀作品に郵政大臣賞(当時)が贈られるようになり、今年で50回を数えます。映像作品として優れた番組を評価する「コンペティション部門」、地域密着のケーブルテレビならではの番組づくりを評価する「コミュニティ部門」、応募者の裾野拡大や制作者の育成を目的とした「新人賞部門」の3つの部門から成ります。

今年の応募作品数は、コンペティション部門78、コミュニティ部門80、新人賞部門32の合計190に上りました。全国の会員事業者で構成した審査員42名で6月に行った予備審査で38作品に絞り込み、さらに外部有識者8名の審査員による本審査会を7月30日に行い、最終ノミネート20作品および各賞を選定しました。「グランプリ 総務大臣賞」を頂点とする各賞の発表ならびに表彰は、9/6(金)に開催する贈賞式のステージで行います。

贈賞式イベントは、9月5日(木)・6日(金)の2日間にわたって開催します。初日は50回記念イベントとして、青山学院大学内山隆教授と映画監督・上田慎一郎氏にご高話賜り、ノミネート作品を制作者が登壇し自ら紹介していただくほか、前夜祭では、過去の受賞作品を採り上げ、50年の歩みを振り返ります。

2日目は午前中の式典で各賞を発表し、午後はグランプリ作品を全編上映し、審査員による講評や受賞者・来場者で受賞作品を中心に制作談議を展開します。

ノミネート作品とイベントスケジュールは別紙をご参照ください。応募や入賞を問わず、多くの制作者が参加、研鑽できる場として、ケーブルテレビの番組制作力向上に寄与する番組アワードを目指します。

■第50回 日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード

日時 2024年9月5日(木) 15:00 ~ 20:30 受付開始 14:30
6日(金) 10:00 ~ 16:45 受付開始 9:30

会場 5日 Alice aqua garden Tokyo 品川 <https://www.r-alice.jp/shinagawa/>
東京都港区港南2-16-5 NBF 品川タワー グランパサージュII 3F

6日 ザ・グランドホール <https://tg-hall.com/access/>
東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー 3F

<番組アワードホームページ URL>

<https://www.catv-jcta.jp/p/award/2024/index.html> (連盟HPよりアクセス)

～本件に関するお問合せは、下記までお願いいたします～
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 <<http://www.catv-jcta.jp>>
コンテンツ&HR推進部 担当:久保田・中田
TEL / 03-3566-8200 E-mail / jcta_contents-lab@catv-jcta.jp

■取材のお申込みについて

報道関係の皆さまにおかれては、ぜひ取材・広報等、幅広いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

取材お申し込みの方は、レセプション(9/5 18:00～)に会費無料でご案内いたします。

メール添付、または FAX にて下記の項目を記入のうえ、お申し込みください。

<確認項目>

- ・貴社名
- ・部署
- ・お名前
- ・TEL
- ・E-mail
- ・9/5 前夜祭(記念レセプション)のご出欠
- ・9/6 贈賞式のご出欠
- ・掲載(放送)予定

～本件に関するお問合せ、取材お申込みは、下記までお願いいたします～

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 <<http://www.catv-jcta.jp>>

コンテンツ&HR 推進部 担当:久保田・中田

TEL / 03-3566-8200 FAX / 03-3566-8201 E-mail / jcta_contents-lab@catv-jcta.jp

第50回日本ケーブルテレビ大賞番組アワード 開催概要

1975年「日本CATV大賞 番組コンクール」からの歩み。 —2024年、50回記念大会。

ケーブルテレビは、地域で暮らす人々に必要とされる情報（＝地域コンテンツ）を、コミュニティチャンネルによる放送サービス、WEBサイトやアプリ、SNS等の通信サービスを通じてさまざまに提供しています。その内容は、身近な生活情報からイベント、スポーツ、歴史や文化、芸術まで多岐にわたり、ケーブルテレビの制作者は、日々、コンテンツ制作のために地域を奔走しています。

日本ケーブルテレビ連盟では、「日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード」により、地域密着、地域貢献の観点を踏まえ、優れた番組を顕彰して制作者を称えるとともに、業界内で共有してコンテンツ制作力の向上に努めています。そしてケーブルテレビが制作する地域コンテンツの認知向上につながるよう、広く発信してまいります。

<第50回番組アワードの進行>

作品募集：4/1～4/26 応募総数190作品

コンペティション部門:78作品、コミュニティ部門:80作品、
新人賞部門:32作品

予備審査：5/31～6/20

全国の事業者・事務局から成る42名で審査。
採点結果の集計に基づき、本審査対象作品（38本）を決定。

本審査会：7/30

有識者8名の審査員は予め視聴のうえ本審査会で各賞を選定。

贈賞式：9/5～6 贈賞式で各賞発表

初日は前夜祭と位置づけて記念イベント。2日目に贈賞式開催。

**9/6贈賞式の模様はYouTubeでライブ配信。
satonoka、チャンネル700で全国生放送。**



グランプリ総務大臣賞



準グランプリ

※グランプリ総務大臣賞と準グランプリは、全部門を対象に選考します。

各部門賞

優秀賞 / 審査員特別賞 / 奨励賞 / 最優秀新人賞

※4K作品に見られる優れた映像表現や演出効果等は、審査会での評価に基づき、特別賞（技術賞）等を贈る場合がございます。

NHK WORLD-JAPAN賞

※NHK WORLD-JAPAN賞は、NHK国際放送局が独自に選考します。

<受賞作品の展開>

番組アワードで受賞した優れた作品は、広く発信いたします。

AJC-CMSで全国のケーブルテレビへ

各局のコミュニティチャンネルで放送します。（約100社実績）

satonoka、チャンネル700で特別編成

日本デジタル配信、ジャパンケーブルキャストの上記チャンネルで**全国放送**。

番組アワードWEBサイトでストリーミング配信

WEBサイトで**どなたでも視聴可能**（許諾作品に限ります）

NHK WORLD-JAPANで放送

同賞受賞作品は海外版を制作して**海外160か国**に向けて放送。

第50回日本ケーブルテレビ大賞番組アワード 開催概要

地域から発信される映像文化の発展と、会員事業者の制作力向上を目的に開催してきた番組アワード。「日本CATV大賞自主番組コンクール」として1975年に開始、今年は50回記念大会として開催します。

贈賞式イベント

- ・日程：2024年9月5日（木）・6日（金）
- ・会場：Alice aqua garden Tokyo 品川（5日）
品川ザ・グランドホール（6日）

<初日プログラム>

品川ザ・グランドホール



日程	時刻	内容	
1日目	14:30	開場	Alice aqua garden Tokyo 品川
	15:00	① 記念講演 ノミネート作品紹介	1) 青山学院大学 総合文化政策学部教授 内山隆氏 番組アワード40回記念講演から10年の比較検証（調整中） 2) 映画監督 上田慎一郎氏 クリエイターとしての心構え、現在の取り組み、制作者へのメッセージ（調整中） 3) ノミネート作品を制作者自らが紹介します。
	17:30	終了・休憩	（ステージ転換）
	18:00	② 前夜祭 （50回記念レセプション）	・オープニング“50回記念VTR”上映 地域メディアとしてコンテンツ制作に取り組むケーブルテレビのイメージ映像。 ・歴代49グランプリ作品レビュー 49作品をサムネイルor動画で紹介。来場の受賞者にはコメントをいただきます。 ・審査員が語る“記憶に残る受賞作品” 現・審査員8名が各々記憶・印象に残っている作品を改めて講評していただきます。
	20:30	終了	

第50回日本ケーブルテレビ大賞番組アワード 開催概要

<2日目プログラム>

日程	時刻	内容	
2日目	9:30	開場	品川ザ・グランドホール
	10:00	① 贈賞式	1) 部門賞 (新人賞・コミュニティ・コンペティション) 2) NHK WORLD-JAPAN賞 3) 準グランプリ、グランプリ総務大臣賞
	12:00	休憩	
	13:00	② グランプリ作品上映 作品講評・制作談議 (1)	・グランプリ作品上映 (最大60分) ・審査員と受賞者による講評・制作談議。(30分以上) グランプリ、準グランプリを中心に。
	14:30	休憩・交流タイム	
	15:00	③ 作品講評・制作談議 (2) 地域メディアの未来を語ろう	・審査員と受賞者による講評・制作談議。(60分) 最優秀新人賞・優秀賞・奨励賞を中心に。 ・地域コンテンツの今後の在り方議論。(45分) コミch (放送) に軸足を置きながらも、新たな手法・デバイス (通信) で柔軟に、広く発信するコンテンツ制作の在り方について意見交換。 地域メディアの未来を考える。
	16:45	終了	

第50回 日本ケーブルテレビ大賞 番組アワード ノミネート作品

<コンペティション部門>

	タイトル	制作局	支部
1	花火のギモン	JCOM株式会社	南関東
2	相模原 おばあさんが残した山津波の記憶	株式会社ジェイコム湘南・神奈川	南関東
3	守れ！美濃柴犬～高校生研究班の奮闘記～	株式会社大垣ケーブルテレビ	東海
4	住職レベル1.1～林昌寺 野田芳樹の成長～	CCNet株式会社	東海
5	200円がくれたもの	CCNet株式会社 本巣支局	東海
6	特別番組「令和6年能登半島地震 検証！その時、あなたは・・・」	射水ケーブルネットワーク株式会社	北陸
7	～故郷とともに生き 故郷とともに逝く～ 孤軍奮闘する若き医師の挑戦	株式会社び～ぶる	九州
8	ちょっと見てみ隊～大野城市はたちのつどい～	九州テレ・コミュニケーションズ株式会社 ケーブルステーション福岡	九州

<コミュニティ部門>

	タイトル	制作局	支部
9	埼玉の逆襲	株式会社ジェイコム埼玉・東日本	北関東
10	新5,000円札の顔“津田梅子”～梅子の切り開いた女性活躍～	株式会社広域高速ネット二九六	南関東
11	小原四季桜 私一年に2度咲く桜を見に行きます	ひまわりネットワーク株式会社	東海
12	防災スイッチON！とやま	株式会社ケーブルテレビ富山	北陸
13	ジモレキTV～阪神なんば線出来島駅・大阪難波駅	株式会社バイ・コミュニケーションズ	近畿
14	Road to 2030 ～SDGsで考えるふるさとのミライ～ 若者とまちづくり	株式会社中海テレビ放送	中国
15	おじの語るシス #1 平井伸治鳥取県知事	日本海ケーブルネットワーク株式会社	中国

<新人賞部門>

	タイトル	制作局	支部
16	ハチゴプロジェクト ～引退車両のセカンドライフ～	イツ・コミュニケーションズ株式会社	南関東
17	365日、里親と動物を繋ぐカフェ ～保護動物Cafeねこのす～	株式会社広域高速ネット二九六	南関東
18	閉校のその先へ出発しんこう！～わたしたちが創った最後の1年～	株式会社インフォメーション・ネットワーク・コミュニティ	信越
19	伊賀くみひもの彩 ～染色職人 平岡正貴～	伊賀上野ケーブルテレビ株式会社	東海
20	北浦地方のサバー送リ つなげ伝統のバトン	ながとてれび株式会社	中国